

# 上尾市学校施設更新計画基本計画に対していただいたご意見・ご要望及びそれに対する市の考え方(回答)

【畔吉地区(畔吉新田・畔吉東部・畔吉前原・畔吉雲雀)】

## 1. 上尾市学校施設更新計画

上尾市教育委員会教育総務課

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・ 子供たちの減少、建物の耐震、充実した教育を目指す上で、検討するにはいいタイミングなんじゃないかなというふうには思っている。	<p>本市では、急増した児童生徒数を受け入れるため、昭和40年代から50年代にかけて集中して小中学校の建設を進めてきましたが、約50年が経過した現在は、施設の老朽化が進んでいます。また、児童生徒数は、建設当時と比較すると、現在は半数程度の約1万6千人まで減少し、クラス替えができない学年がある小規模校が点在するなど、学校間の規模に偏りが生じています。</p> <p>そして、教育のICT化など建設当時とは大きく変化した授業の形態に対応し、また熱中症やコロナ対応など、時代に即した最新の教育環境の整備が求められています。</p> <p>このような中、今後、孫の世代までの長きにわたって「持続可能な教育環境づくり」を推進するためには、建物の経年劣化による学校の更新に併せて、最新の教育環境に適した施設整備をするとともに、学校の小規模化などの時代の経過により発生した諸課題についても、この更新のタイミングで全市的に解消させる必要があり、教育と行財政の両方の観点から、35年という長期的な視点をもって本計画を策定しました。</p>
002	・ 子供たちにとって適正な良い教育環境を作るというのは方便で借りてきて、建設費の予算を削減したいというのが本音だと聞かえる。	

## 2. 児童生徒数推計

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・ 上尾道路が、5年後10年後に二車線開通し、北本から鴻巣までが抜けたら、今の中山道の交通量は、50%いなくなるかもしれない。そのときの上尾道路は、満タンになり、市内の住民移動が始まる。準農村地帯、農村地帯だが、そうなったときは国や県から、開発要請がきつと来るのではないか。	<p>本計画では、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口の中位推計を参考に児童生徒数の推計を行っております。</p> <p>上尾市地域創生総合戦略の将来展望人口の推計や国立社会保障・人口問題研究所で公表する高位推計等を分析し、様々な視点から児童生徒数の検証を行ってまいります。</p>
002	・ 高速道路が堤崎まで来る。アマゾンのような倉庫がこれから十分考えられる。そのときには、上尾道路には、あるいはその周辺に住宅の移動がいっぱいできてきて、象徴的な小学校、中学校は、またいっぱいになるのではないか。	

## 3. 学校規模

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・ 1学年1学級にはしたくないというは、大石南小が今とても少ないことがわかっているので、それは1人の母親として不安が残るので、1学級にしないってのは賛成である。	<p>本計画では、『適正規模』として12学級から18学級の整備を進める方針です。通学区域を考慮すると、一部の学校では準適正規模である24学級整備の想定もありますが、基本は小学校では1学年2から3学級、中学校では1学年4から6学級とする方針です。</p> <p>学校ごとの再編(案)においては、小規模校や大規模校が発生しないようにコストシミュレーションを行っております。</p> <p>適正な規模とすることは、学校行事の活性化や部活動の種類の増加、人間関係の多様性を図ることができるといったメリットがあります。適正規模の範囲内での学校規模を目指すため、1つの学校で1学年1学級規模となるような整備は現在のところ考えておりません。</p> <p>※ 学校ごとの再編(案)につきましては、規模が大きくなり過ぎていることや通学路が遠くなることから、ゼロベースで見直しを行うこととなりました。</p>

## 4. 学区編成

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・ 大石小学校に通っている人たちが大石南小学校に来れば、適正規模になるのではないか。	<p>現在は、既存施設の教室数で受け入れ可能かどうかの判断を行い、学校を選択できる区域を設けるなど、通学区域の調整に関する取組を実施しております。</p> <p>今後においては、学区を調整してもなお学校間の規模の偏りに大きな差がある場合には、適正規模化の推進のための学校再編を行うこととなります。その場合は、学校選択区域の拡大や指定校の変更など、通学区域の調整も含めて実施することを想定しております。</p>
002	・ 大石地区はもう満杯だから、もうこれ以上増えて欲しくないっていうのがあるので、できたら大石南小の方に新しく家が建つ、「るーぱん」の裏のあたりとかの人までは、もう完全に大石南小にして欲しいっていうお話を聞いた。	
003	・ 学校区というのは、分けるのが大変で、できないというものなのか。	
004	・ 学区編成は、地元からこうして欲しいってなかなか言い出せないところもある。大石小の方から比べれば、大石南小なんか遠くていやだとなるので、地元の意見も大切だけど、やっぱり教育委員会としてこういうことなのですよって言って、学区編成を大石南小は300人しかいないから動いてくださいよと、そんな単純じゃないが、そういうようなことも大切ではないか。	
005	・ 大石小と大石南小に分かれて、そのあと大石小は、大石北小にも分かれて、大石南小は、西小、今泉小、平方北小に分かれていった。単純に減少したのではなくて、学校を分けたので減ってきた。その辺もきちんと説明していただきたい。	

## 5. 通学距離・通学路

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・上尾道路ができたことによって、隔絶された地域になっているのも確かで、その環境の中であんな交通量が激しい道路なんかは子供たちを渡らせられない。	本計画では、実際の通学距離として「1.5kmから2.0km以内」を徒歩通学の目安としています。学校再編により、徒歩通学の目安を超える場合、児童生徒の負担軽減を考慮した通学手段として、小学生はスクールバス、中学生は自転車を想定しておりますが、地域の皆様と丁寧に協議を行いながら検討していきたいと考えております。また、徒歩通学における児童生徒の安全性については、地域の危険箇所や課題を抽出し、関係部署との連携を図りながら効果的な対策を検討してまいります。
002	・大石南小付近の道路はかなり狭くて、トラックも通る。アミダヤマゴルフ場のところに大型倉庫ができると、そこに入る大型トラックがどんどん通ると予想されるので、実際どういう通路を検討されているか分からないが、大変危ないと思う。	

## 6. 学校施設

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・資料36ページのような施設は、学校の統合をしなればできないのかって思う。今できてればもっと子供たちも増えて、大石南小学校も増えるんじゃないかなって思う。	今後、大きな改修や、老朽化によって建て替えなければならない学校施設については、このような文部科学省のモデルケースの中で取り上げられている形で整備していきたいと考えています。

## 7. 地域拠点・防災拠点

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・大石南小学校は体育館が3階にある。お年寄りを避難誘導したが、とてもじゃないけど上まで歩いてくってしんどい。	仮に、学校再編に伴い空きが生じた学校施設につきましては、地域の皆様の意向を踏まえながら、それぞれの地域のスポーツ・文化・交流の拠点として、防災機能を含めて有効活用を広く検討してまいります。
002	・大石南小学校をモデル避難所として考えてほしい。	

## 8. 跡地利用

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・大石南小学校は、当分の間は南中学校と小中一貫校にして、大石南中学校は、上尾市の第二のコミセンとして、地域のバレーボールだとか、卓球だとか、地域の人や、あるいは防災施設として、水害のときは使えないが、地震のときは十分使えるから、そういう施設として残していただきたい。	仮に、学校再編に伴い空きが生じた学校施設につきましては、地域の皆様の意向を踏まえながら、それぞれの地域のスポーツ・文化・交流の拠点として、防災機能を含めて有効活用を広く検討してまいります。
002	・小中一貫校として学区の見直しをしながら、避難所を残していくってことに賛成の立場である。	

## 9. 学校ごとの再編(案)

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・課題として、大石中学校と大石南中学校を一つにしたときに、畔吉新田地区は、一番距離が遠くなる対策として、大石南小学校を残して、大石南中学校との小中一貫校、そんなことを考えて、お願いしたい。一番遠いとこの子は、4.5kmの通学になる。	学校ごとの再編(案)は、コストシミュレーションに基づき検討し、各学校の更新の方向性についてお示ししたものでございまして、市の決定事項ではありません。こちらの再編案については、各地区自治会や7月の地域説明会等でいただいたご意見やご要望を十分考慮したうえで検討し、必要な見直しを行ったうえで、再度お示したいと考えております。※ 学校ごとの再編(案)につきましては、規模が大きくなり過ぎていることや通学路が遠くなることから、ゼロベースで見直しを行うこととなりました。
002	・子供たちが中学校、小学校関係なくなったとしても、大石南小、大石南中をなくすっていうのはすごく反対。小学校とか中学校の先生の数がいから、なんか一緒に合同にしたいのかなとちょっと思った。	
003	・51年経過している大石小敷地内に大石南小を統合というのは、やはりちょっと不安がある。地区によって少し予算がだいぶ偏っているのかなというのを感じた。	
004	・大石の人口が1万人も増えている。大石小学校、大石中学校に集中したときに、パンク状態になるのは目に見えている。	大石小学校と大石南小学校の再編案では、大石小学校と大石北小学校の通学区域の調整を考慮しました。大石小学校の再編時の児童数と学級数は、840人、24学級と見込んでおります(1学級の人数は35人)。また、大石中学校と大石南中学校の再編案では、大石南中学校と太平中学校の通学区域の調整を考慮しました。大石中学校の再編時の生徒数と学級数は、899人、24学級と見込んでおります(1学級の人数は40人)。※ 学校ごとの再編(案)は、ゼロベースで見直しを行うこととなりました。
005	・子供たちにとって良い教育環境を作りたいっていう目的だと思う。その目的から、結果的に大石南小学校の児童は全部大石小学校に行くと、1000人以上の学校を作る結果になる。目的と結果が全然合っていない。	
006	・大石南小が大石小学校とくっついてしまうと大規模になってしまうということにも不安はある。	

## 10. その他

No.	ご意見・ご要望など	市の考え方(回答)
001	・大石南中の地域の方は、とても子供たちと一緒に見てくれるにすごく協力的な方々が多いので、助かっている。	いただいたご意見は、今後の参考とさせていただきます。※ 本計画を見直しすることとなりましたので、見直しにあたって参考とさせていただきます。
002	・例えば財政的にお金が上がるといった、住民一人当たり幾らだから、23万人の現在の人口で割って将来どうなのか、1人当たり月どのぐらいの負担が増えるのか、ということが数字的に明確になって、最終的には議会でもんで決めること。	
003	・先ほど特色ある学校にしていきたいという話もあったが、全く決まっていなかった部分である。学校によって特色がありすぎたら、特色ある学校に行きたいけれども、行けないし、こっちの特色ある学校に行きたくても、行けないと思う。きちんと同じような教育が受けられるようにやっていくのが、義務教育の本文なので、簡単に、場当たりに受けの良いようなことを言わないでいただきたい。	